

## 第5回広島市タバコ対策懇談会 会議要旨

### 1 会議名

第5回広島市タバコ対策懇談会

### 2 開催日時

令和8年3月24日（火） 19:00～21:00

### 3 開催場所

広島市役所本庁舎 14階第7会議室

### 4 出席委員（11名）

渡邊委員、渡委員、河村委員、櫻井委員、金沢委員、佐々木委員、古田委員、中井委員、若狭氏（代理出席）、鉦前委員、星野委員

### 5 事務局

健康福祉局保健部参与(事)健康推進課長、環境局業務部業務第一課長、企画総務局総合調整課長、(株)福山コンサルタント

### 6 議題

(1)タバコ対策に係る実証実験について

(2)喫煙率の減少及び受動喫煙防止に向けた取組について

(3)その他

横川駅周辺における受動喫煙やばい捨て等に係る喫煙実態予備調査について

### 7 公開・非公開の別

公開

### 8 傍聴人

なし

### 9 会議資料

資料1：タバコ対策に係る実証実験について

資料2：喫煙率の減少及び受動喫煙防止に向けた取組について

資料3：受動喫煙やばい捨て等に係る喫煙実態予備調査

## 10 会議要旨

### (1) タバコ対策に係る実証実験について

#### 事務局（総合調整課）

－ 資料 1「タバコ対策に係る実証実験について」を説明 －

#### 渡邊委員（座長）

・資料 1 の実証実験結果について、委員からのご意見・ご質問などあるか。

#### 若狭委員

- ・ほぼ毎日、分煙施設の横を通っているが、設置直後から常時 2, 3 人の喫煙者が入っている。分煙施設のすぐ近くを通っても、あまりタバコのおいを感じないので、分煙施設を設置して良かったと感じる。
- ・分煙施設設置前は、路上での歩きタバコが気になっていたが、分煙施設ができたことで喫煙者に対して案内ができるようになった。路上喫煙者を見かけたら「ここでは吸えません」ではなく「すぐそこで吸えます」と言えるようになり、喫煙マナーの啓発が喫煙者に受け入れられやすくなっていると感じる。是非設置を継続していただきたい。
- ・休日はまだまだ喫煙マナーが守られていないと感じる。分煙施設の所在を知らない外来者に対する啓発をすれば、もっと効果的ではないか。

#### 金沢委員

- ・分煙施設は、施設のスペースを広げるとタバコの煙が漏れにくくなるのか。
- ・喫煙者は、分煙施設のスペースが狭いと、他人のタバコの煙が気になるのではないか。

#### 事務局（総合調整課）

- ・分煙施設のスペースを広げると、タバコの煙が漏れにくくなるという報告はない。
- ・アリスガーデンでは土地の制約上、分煙施設のスペースを広げることは難しい。そのため、設置スペースに応じた、タバコの煙が漏れにくい分煙施設の構造を引き続き検討していきたい。

#### 事務局（福山コンサルタント）

- ・アンケート調査結果では、喫煙者から「分煙施設内で他人の煙を吸い込むことが気になる」といった意見は出ていない。

#### 中井委員

- ・分煙施設のスペースの広さはあくまで喫煙者の定員に起因する。アリスガーデンの場合は分煙施設の定員が 4～5 名となっており、この人数であれば施設内で快適に喫煙ができることを意味する。スペースが広がっても定員が増えるだけなので、他人のタバコの煙を吸い込みにくくなるわけではない。周囲のスペースに応じた分煙施設の構造・定員の検討は、受動喫煙防

止効果を測る検証要素として重要であると考えている。

#### 若狭委員

- ・アリスガーデンの分煙施設では、分煙施設内に喫煙者が多数いるときは分煙施設の外にはみ出て喫煙している様子をたまに見かける。

#### 渡邊委員（座長）

- ・分煙施設に定員は明記していないのか。

#### 事務局（総合調整課）

- ・現在、分煙施設に定員は明記していない。定員を明記することで、分煙施設の混雑状況が分かりやすくなる効果はあると考えられるが、明記すべきかどうかは検討していきたい。

#### 金沢委員

- ・分煙施設内の喫煙者数が流動的な中で施設の定員を決めてしまうと、喫煙者同士でぎこちなくなると思うので、定員は記載しなくても良いのではないのか。

#### 櫻井委員

- ・分煙施設の喫煙スペースは何坪くらいで設計しているのか。想像以上に小さいと感じている。施設からはみ出て吸っている喫煙者が多く、前を通るたびに心配になる。
- ・分煙施設はくもりガラスにしないといけないのか。

#### 事務局（総合調整課）

- ・屋外の施設のため、何坪といった概念はない。
- ・分煙施設の壁面は、心理的な入ってもらいやすさ、および施設内の安全面を考慮して、透明なガラスの中に一部くもりガラスを採用している。

#### 櫻井委員

- ・「なぜここに分煙施設を作ったのか」など、ネガティブな意見はアンケートで出なかったのか。

#### 事務局（福山コンサルタント）

- ・アンケートの自由意見としては好意的な意見が多いが、一部の喫煙者からは「分煙施設のスペースが狭い」「分煙施設を設置するのが遅い」といった意見が寄せられている。
- ・非喫煙者からは「喫煙に関する取締りを強化してほしい」といった意見のほか、「分煙施設を設置する場所については周辺環境も含めて検討すべき」といった意見が寄せられている。

#### 櫻井委員

- ・分煙施設に喫煙者を集めているが、分煙施設内に喫煙者が多い場合は外で喫煙している。男性

が分煙施設内で喫煙し、女性が分煙施設外で喫煙している状況を見たことがあり、特に夜はその傾向が強くなると思うため、その対応を検討すべきではないか。

- ・分煙施設に空気清浄機（ダクト）を設置できないか。

#### **事務局（総合調整課）**

- ・設置できることが望ましいが、屋外施設で周辺設備の制限もあるため、設置は難しい。

#### **櫻井委員**

- ・調査結果の考察に「傾向」となっているものがあるが、統計的処理はされているのか。

#### **事務局（福山コンサルタント）**

- ・実態調査はすべての喫煙者の実数値を把握していることから、事前事後調査の比較において統計的に有意な差が確認できる。一方で、アンケート調査は協力が得られた回答者に限られるため、サンプルの偏りには留意する必要があるものの、500票以上の回収数を確保していることから、傾向把握としては十分に活用できると考えている。

#### **櫻井委員**

- ・事前調査が5月に実施されており、気候条件の違いから1月との比較の妥当性に少し疑問がある。今年の5月に調査を実施した場合どのような結果になるのか気になる。

#### **事務局（総合調整課）**

- ・分煙施設設置後の意見を周辺商業施設から聞いたところ、総じて好意的に受け止められている一方で、タバコのおいや喫煙マナーに関する意見も寄せられている。今後何かしらの対応策を研究していきたいと考えている。

#### **渡邊委員（座長）**

- ・実証実験について、現時点では、マナー違反者が一定数いるため、喫煙者に対する啓発という部分ではまだ足りない点はあるが、アンケート調査では多数の方が分煙すべきとの意見であったことから、今後の方向性としては、喫煙マナーなどの啓発・周知徹底に注力しつつ、もう少し様子を見てはどうか。

【他委員から異論なし】

(2) 喫煙率の減少及び受動喫煙防止に向けた取組について

**事務局（事務局（健康推進課））**

- － 資料 2「喫煙率の減少及び受動喫煙防止に向けた取組について」を説明。 －

**渡邊委員（座長）**

- ・資料 2 の内容について、委員からのご意見・ご質問などあるか。

**金沢委員**

- ・平日よりも土日の方が分煙施設の利用者数が多いにも関わらず、アクセス数は平日の方が延びているのはなぜか。

**事務局（健康推進課）**

- ・正確に検証したわけではないが、アリスガーデンの分煙施設は、平日は仕事中の利用者が中心である一方、休日は若年層の利用が多く、曜日によって利用者層が異なっている。そのため、平日の利用者の方が啓発サイトへのアクセス意向が高かった可能性がある。

**金沢委員**

- ・特定検診受診者への個別通知について、「COPD」「慢性閉塞性肺疾患」「タバコ肺」の表記が並んでおり、迷いがあるような記載になっている。どれか 1 つに絞ってはどうか。

**事務局（健康推進課）**

- ・どの表記がふさわしいかは、専門家とも相談の上で検討させていただきたい。

**渡委員**

- ・マツダスタジアムに掲示予定の「20 歳未満のタバコは NO」のデジタルサイネージは、「20 歳以上なら自由に吸ってもよいのか」といった誤解を生むので、はっきりと「タバコは NO」としてはどうか。
- ・マツダスタジアムにおける受動喫煙対策の不十分な環境は非常に良くないと考えている。市の条例などで全面禁煙など規制を強化できないものか。
- ・廿日市市では 2018 年、スポーツ施設をはじめとした市有施設の全面禁煙に踏み切っている。広島市でも同様の取り組みができないか。
- ・「受動喫煙防止に向けた喫煙対策に関する施設調査」について、調査内容やアウトプットに対するアクションをどう考えているか、概略でよいので教えていただけないか。

**佐々木委員**

- ・昨年、市が袋町公園、アリスガーデン、新天地公園で喫煙者や吸い殻のぼい捨て数などを調査した結果、新天地公園だけは、喫煙制限区域ではなく喫煙に対する規制がかかっていない場所

にもかかわらず、吸い殻のぽい捨て数は少なかった。理由としては、灰皿を公園内に設置しているため、その周辺で喫煙していることが要因であると考えている。全面禁煙にしても特に若年層は隠れて吸って、ぽい捨てをする。むやみに全面禁煙にせず、地域の実情を鑑みて、それに応じた規制の形をするのが良いのではないか。

#### 事務局（健康推進課）

- ・マツダスタジアムに掲示予定の啓発内容が誤った形で伝わるのは不本意であるため、メッセージが正しく伝わるよう、たばこの害に関する注意書きを追記する等、専門家の意見も踏まえて改変する。
- ・施設調査では、【敷地内禁煙、原則屋内禁煙が守られているか】【特定屋外喫煙場所の基準を満たして喫煙場所が設置されているか】【啓発標識が掲示されているか】等の項目について調査・確認する予定。
- ・2年前の調査では、特定屋外喫煙場所の設置基準や啓発標識の掲示に課題がみられる結果となったため、啓発活動も含めた調査を行っていく予定。

#### 渡邊委員（座長）

- ・施設調査のうち、実態把握はどのような調査を予定しているか。

#### 事務局（健康推進課）

- ・アンケート調査を予定している。

#### 櫻井委員

- ・デジタルサイネージのイラストは紙巻タバコだけでなく、加熱式タバコの画像を追加して、若年層にもわかりやすいものにしてはどうか。

#### 事務局（健康推進課）

- ・ご意見を踏まえて、サイネージのイラストを改善する。

#### 河村委員

「COPD」「慢性閉塞性肺疾患」ではなく、「タバコ肺」と表現した方が、健康への危機感が伝わりやすいのではないか。

#### 金沢委員

- ・症状や疾患名は難しい言葉が多く、広報の言葉としては危機感が伝わりにくい。「タバコ肺」のような端的な言葉の方がより対象者に伝わりやすいと感じる。

#### 渡邊委員（座長）

- ・喫煙者は、喫煙は肺に良くないことを知りながら吸っている。個人的には「タバコ肺」のよう

なダメ押しをする表現の方が喫煙者の心理に響くと感じる。

#### 渡邊委員（座長）

- ・5月31日の世界禁煙デーについて、イエローグリーンライトアップ（エディオンピースウイング広島）以外に掲示板での発信や取組等は行うのか。

#### 事務局（健康推進課）

- ・健康推進課の取組みのほか、各区の担当課で世界禁煙デーに関する啓発や広報を、各種掲示板や市内のデジタルサイネージにて実施予定である。

#### 渡邊委員（座長）

- ・国道沿いの電光掲示板は結構色んな人が見ていると感じる。国交省や県など、道路管理者と連携した啓発も有効ではないか。

#### 古田委員

- ・広島は喫煙に寛容な街と感じる。喫煙可能な飲食店が多く、店内のタバコの煙が気になる。飲食店など条例で縛っていくべきだと感じるが、住民からこのような声など上がっているのか。

#### 事務局（総合調整課）

- ・市民から喫煙環境に関する苦情は少ない一方で、喫煙者への啓発やパトロールの強化に関する意見を頂くことはある。業務第一課ではばい捨て指導員によるパトロール強化、喫煙制限区域内における過料の徴収などは行っている。また、健康推進課が禁煙を推進していく取組も行っている。
- ・他自治体では、条例により強力に制御する手法を取っているところもある。しかし、喫煙者が一定数いる中で、こどもも含めた非喫煙者への受動喫煙を防ぐために、地域の声を聞きながら、実験的に対策を実行する手法を広島市では行っている。一律に条例で縛り付けるのではなく、地域に応じたやり方で、地域住民に喜ばれる対策を行っていく。

#### 古田委員

- ・JRの新幹線では、車内の喫煙ルームを撤去するなど喫煙者に対して強力な規制を敷いてきた経緯がある。広島駅のホーム上にある喫煙所がいつも混雑しているのを見ると、すべての喫煙行動を制限することの難しさを感じている。ぜひ住民の声をしっかり吸い上げて、よりよい受動喫煙防止の形を作っていただきたい。

#### 鈺前委員

- ・広島駅周辺は喫煙制限区域になっている。これまでのタバコ対策懇談会でも対策を進めるよう発言しているが、対策しているのを実感できない。パトロールも増やしたというが一回も見ることがない。

- ・駅前大橋付近の河岸緑地など、受動喫煙が多く発生している状況である。このような状況に対して、何か対策に向けた動きができないか。

#### **事務局（総合調整課）**

- ・現在の広島市でのタバコ対策については、アリスガーデンでの実証実験を積み上げて検証を行っている段階である。駅前エリアの喫煙環境についても、市において問題意識を持っているため、必ず対策は進めていく。もうしばらく検討させていただきたい。

(3) その他

横川駅周辺における受動喫煙やばい捨て等に係る喫煙実態予備調査について

**事務局（総合調整課）**

- － 資料3「横川駅周辺における受動喫煙やばい捨て等に係る喫煙実態予備調査について」を説明 －

**渡邊委員（座長）**

- ・資料3の予備調査結果について、委員からのご意見・ご質問などあるか。

**星野委員**

- ・横川駅前では、他に喫煙場所がないため、たばこ店前の灰皿で吸わざるを得ない状況になっており、規制もないことから、注意がしづらい。冒頭の若狭委員の意見のように注意できる環境にしておくのが良いのではないか。
- ・周辺の飲食店では、営業時間外に灰皿を店外に置いたままにしておく地域住民から苦情が来るため、恒常的な灰皿の設置が難しい状況である。
- ・現在の横川駅周辺の喫煙状況が可視化できたことから、まずは地域団体と相談したい。

**渡邊委員（座長）**

- ・横川駅前の喫煙環境改善については、行政だけでやる、地域だけでやるのではなく、それぞれがしっかり話し合ったうえで、今後の対策について決めていくべきだと感じる。
- ・福山市では路上喫煙条例を敷いてPR、ルール作りに注力している。

**渡邊委員（座長）**

- ・その他、委員からのご意見・ご質問などあるか。

**渡委員**

- ・実証実験結果について、防犯に関する効果はどうだったのか。

**事務局（福山コンサルタント）**

- ・アリスガーデンのアンケートにおける「公園全体が十分に管理されている」の項目に対して、喫煙者に比べて非喫煙者の方がより効果を感じている結果となっていることから、防犯に関する効果が一定程度みられていると推察される。

**渡委員**

- ・警察の事件数データを問い合わせるなどして、防犯効果がどれほどみられているかを検証してほしい。

#### 渡委員

- ・JT（日本たばこ産業）では、受動喫煙防止に関してどのような取り組みを行っているのか、中井委員にご教示いただきたい。

#### 中井委員

- ・イベント時の臨時喫煙所設置、喫煙所付近での声かけなど地道な活動を継続している。

#### 渡委員

- ・イベント時だけでなく、平素から受動喫煙に対して前に出て活動して、受動喫煙を取り巻く雰囲気を変えてほしい。

#### 中井委員

- ・自分たちの活動が委員に届いていないのは課題点と感じている。地域住民や、本懇談会に出席している各担当課・委員の方々と協力し課題解決に向けた活動を行っていることはご理解いただきたい。

#### 渡委員

- ・コンビニ店頭での受動喫煙が起らないよう、責任をもって働きかけを行ってほしい。

#### 佐々木委員

- ・新天地公園付近の町内会で、防犯活動に注力してきた。1つ1つのことを積み上げたうえで現在の治安向上につながっている。地域と行政が一体になって課題解決を行っていくのが有効ではないか。

#### 渡邊委員（座長）

- ・誰がやる、というわけではなくみんなでやるのが大事。この懇談会は非常に貴重な機会なので、忌憚のない意見を交換して、今後の受動喫煙防止に向けた取組みを行っていくべきと考える。

#### 事務局（健康推進課）

- ・次回の懇談会は6月頃を予定。

以上